

参考資料

◇ 高校生就職スタートブックを活用した進路指導の展開例

◆ 資料のねらいと構成

「高校生就職スタートブック」は、高校卒業後就職を希望する生徒が、具体的な就職活動に入る前の高校2年生から就職を選択決定する高校3年生にかけて利用することを想定しています。

内容は、大きく分けて、「第1章 就職活動を始める前に知っておこう」、「第2章 就職活動を始める前に考えてみよう」、「第3章 就職活動を進めるために」、「第4章 就職後の職業生活ってどんな感じ?」の4つの部分からなっています。

就職に関する実践的な知識と心構えを身につけるためには、まず、労働市場の現状について認識することが欠かせません。続いて、働くことに対する心構えを確認し、就職活動の流れを十分に理解させます。そして、就職後の生活についてもある程度の予備知識を持てるように、という順序で学習を進められるように構成したものです。

また、知識や考えを整理・確認するために使用するワークシートと関連するデータを巻末にまとめて掲載しています。本文中に、関連するワークシートの番号とデータの所在を表示してありますので、生徒自身が主体的に作業をすることにより、学習内容のより確かな定着が期待されます。

(指導展開例)

就職について知る	
◇ねらい	自校および現在の進路状況を把握し、将来の職業選択に役立てる。
◇実施時期(目安)	2学年 3学期
◇事前指導・準備	・進路希望調査を実施する。 ・自校における進路の状況、主な就職先一覧を用意する。
◇授業の展開	(使用するワークシート①～⑤)
活動の内容	留意点
活動の開始 (10分) ・「第1章 就職活動を始める前に知っておこう」(P.4～7)を読む。	・就職試験は3年生の9月から始まるが、就職決定までにかかる期間は長期化する傾向にある。1回目の選考が不調でも、3月の卒業まであきらめずに活動することの大切さを伝える。 ・大企業、有名企業にこだわらずに、いろいろな企業について調べてみる必要性を説く。 ・高卒求人約8割は従業員300人未満の中堅、中小企業であることを確認させる。 ・職種別の求人倍率には大差がある。比較的求人の多い技能関係の職種に目を向けさせる。 ・地元志向が強まる傾向にあるが、地域の産業構造によっては厳しい状況にあり、各自の優先する条件について、整理してよく考えてみる必要性を説く。
活動の展開 (35分) ・ワークシート①～⑤を資料に基づいて記入する。	・進路の状況、主な就職先一覧をプリントしたものを配布する。
活動のまとめ (5分) ・本時のねらいを確認する。	・今日の学習を自分の将来の職業選択に役立てるように説明し、学習をまとめる。

◆ 利用方法

『高校生就職スタートブック』は生徒の自主的な学習も可能な内容ですが、教員の指導のもとに進路学習の中で利用すると、より一層の効果が期待できます。ワークシート①～⑤を展開する際には、各学校における進路の状況、主な就職先一覧、最近2～3年の求人票等、学校独自の資料の準備が必要です。生徒の問題意識を高めるには、卒業生の体験談などのより身近で具体的な情報を加味すると効果的です。

2年生では、まず第1章、第2章を中心に、基礎的認識を定着させるよう指導し、3年生で初めて使用する場合は、第3章を中心に、必要に応じて第1章、第2章を参照するなど、各校の年間進路指導計画に基づいて、適宜重要と考えられる部分を中心に利用してください。第4章は、内定者の就職後の心構えと予備知識のために、各自で一読しておくよう薦めてください。

生徒に配布して自主的な学習に任せる場合には、併せて進路データ（卒業生の進路、求人・求職状況など）の見方や関係資料（「キャリアマトリックス」、「職業ハンドブック」など）の活用方法について説明し、ワークシート等を利用して自分で学習のまとめができるよう、アドバイスをお願いします。

なお、ワークシートはミシン目から切り離して使用することもできます。

(指導展開例)

「フリーター」と呼ばれる働き方について	
◇ねらい	フリーターという働き方について考える。
◇実施時期（目安）	2学年 3学期
◇授業の展開	
活 動 の 内 容	留 意 点
活動の開始（10分） <ul style="list-style-type: none"> あらかじめ4、5人のグループに分かれ着席する。 「第1章 就職活動を始める前に知っておこう」（P.8、9）を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> フリーターという働き方は、新卒時点では正社員との間で労働条件にあまり差がないようにみえても、長期的にみると様々な面で差が開いていくこと、フリーター歴が長くなると定職に就くのが難しくなること、企業のフリーターに対するまなざしは厳しいものであることを理解させる。
活動の展開（35分） <ul style="list-style-type: none"> フリーターのメリット、デメリットについてグループ内で話し合う。 話し合ったことをクラスで発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> フリーターのメリット、デメリットについて考えさせる。資料としてP.8、9のデータ、及びP.48、49の付属参考資料を参照させるほか、必要に応じて『職業ガイダンスブック』の図17、図21についても情報として提供する。 出た意見を板書し、最後にクラスで確認させる。
活動のまとめ（5分） <ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 気づいたことをノートなどに記録させる。

(指導展開例)

働くことについて考える	
◇ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・「働く」ことについて、各自で考える機会とする。 ・自分にとっての「働く意味」と、企業にとっての「人を雇う意味」との違い、ギャップについて考えてみる。 ・興味を持っていること、得意なことなどの自分の個性を捉えた上で、それを活かせる職業にどんなものがあるか調べてみる。
◇実施時期（目安）	2学年 3学期
◇事前指導・準備	「キャリアマトリックス」、「職業ハンドブック」等、職業について情報収集するための資料を用意する。
◇授業の展開	(使用するワークシート⑥～⑨)
活 動 の 内 容	留 意 点
活動の開始（10分） <ul style="list-style-type: none"> ・「第2章 就職活動を始める前に考えてみよう」（P.10～15）を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことは、当面の収入を得るためだけでなく、自己実現や社会との継続的にかかわりの基盤となるものでもあることを理解させる。 ・採用する企業側の立場に立ってみて、自分が人材として評価される必要性について認識させる。 ・身近な職業や華やかなイメージのある職業など、限られた職業の範囲だけで考えるのではなく、いろいろな職業について幅広く情報収集する必要性と具体的方法を理解させる。 ・職業適性検査の利用や、職業情報の収集・蓄積に早めに取り組むことの必要性を説く。
活動の展開（35分） <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート⑥～⑨を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の職業生活設計を視野に入れた長期的な視点で、自分の興味・関心、ライフスタイルに対する希望などを整理させる。 ・自分の個性を活かせる職業にどんなものがあるか調べる。
活動のまとめ（5分） <ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習を自分の将来の職業選択に役立てるように説明し、学習した内容をまとめる。



仕事の解説を聞く（美容師）
（写真提供 私のしごと館）

(指導展開例)

就職活動の進めかた	
◇ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の全体的な流れをつかむ。 ・求人票の見方を理解する。 ・就職試験に臨む準備をする。
◇実施学年	3 学年
◇事前指導・準備	求人票、就職体験記などを用意する。
◇指導の展開	(使用するワークシート⑪～⑬)
活 動 の 内 容	留 意 点
(個別学習) <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の全体的流れを把握する。 ・求人票からの情報の読み取り方、面接に臨む心構えを考えてみる。 ・先輩のアドバイスや体験談を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に就職活動が始まってから内定、卒業、入社までの主な流れとタイムスケジュールを理解する。 ・応募先を選ぶポイントについて自分の考えを整理する。 ・求人票の見方、履歴書の書き方、面接時に注意すべきポイントを理解する。 ・就職までに準備しておかなければならないこと、会社と学校との違いなど、印象に残ったことをまとめる。
演習) <ul style="list-style-type: none"> ・履歴書を書いてみる。模擬面接の指導を行う。 (面接指導用のビデオ教材を持っている場合は、併せて活用する) ・生徒同士で模擬面接を体験してみる。 ・最近の卒業生を呼んで体験談を話してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のアピールポイント、職業生活設計などについて、考えを整理してみる。 ・短い時間の中で、自分を表現し、初対面の他者に理解してもらう難しさを経験してみる。 ・面接をする人(求人者)の立場に身を置いてみて、相手(応募者)の対応について気がついたことを話し合ってみる。 ・身近な先輩の具体的な体験談から、就職活動や職場の実際について、生きた情報を得る。



就職活動セミナー (写真提供 ヤングワークプラザしぶや)